

第2回平塚市総合計画審議会における主な意見とその対応

	意見内容	対応
意見を受け、1次素案を変更した事項		
1	【全体】 カタカナ語には、説明書きをいれるなど市民に分かりやすい工夫ができないか。	今後、注釈を加えます。なお、パブリックコメント時には、注釈を入れる予定がある旨を記載します。
2	【全体】 まちづくりに市民が関わるのが重要であり、市民の声が反映させられるような書き込みが欲しい。	御意見を踏まえ、基本計画が目指す姿を明確にする（市民が幸せに暮らすまち）とともに、市民ワークショップから得られたまちの姿を記載することとしました。市民ワークショップでは「全員参加のコミュニケーション」という表現が使われています。
3	【全体】 もう少し具体的な内容を書くなど、平塚ならではの色・特徴を出してほしい。施策・戦略の「現状」の項目で書けるはず。	基本計画では方向性を示すため、具体例は記載しにくいですが、分野別施策の「現状」の項目に「市内全地区でのちいき情報局の開設」、「自主防災組織率100%」や「自転車利用が多い」など平塚市の特徴を記載します。
4	【全体】 少子化の進展とあるが、進展は良いことが進むときに使う言葉である。（その他、気になる点をまとめた資料を拝受いたしました。）	「進展」から「進行」に変更しました。なお、御意見をまとめた資料に関しては、できる限り反映します。
5	【全体】 わかりやすい文章にするために、「」で例題を記載するなど工夫してはどうか。	注釈を入れるときの参考とします。
6	【序論】 「6 総合計画の管理と推進」のバックカスティングについて、分かりやすい表現や詳しい説明が必要。	御意見を踏まえ「将来の予測よりも目的の達成に焦点を当て、「実現したい未来」を先に描き、その実現のために必要な取組やアイデアを生み出すことを狙いとされた思考方法のこと。」を注釈として加えます。 <p. 19 >
7	【序論】 「5 まちづくりの基本姿勢」で平塚市が目指す姿（方向性）が見えにくい。	御意見を踏まえ、基本計画が目指す姿を明確にする（市民が幸せに暮らすまち）とともに、市民ワークショップから得られたまちの姿を記載します。 <p. 18 >
8	【序論】 「5 まちづくりの基本姿勢」をみても、個別のことが記載されており、どこを目指すのかが分かりにくい（役割の一つである共有ができない）。カタカナは敬遠されがちだが、良く言われる「ウェルビーイング」が目指す姿のようにも思える。	御意見を踏まえ、基本計画第1章「1 基本計画の構成」で基本計画が目指す姿を明確にする（市民が幸せに暮らすまち）とともに、市民ワークショップから得られたまちの姿を記載することとしました。また、序論第1章「2 総合計画の概要」にも総合計画が目指す姿を記載することとしました。 <p. 18 > <p. 5 >
9	【子ども・子育て】 保育士の人数確保の課題に加え、質の確保も課題がある。	御意見を踏まえ、分野別施策1- の「取組方針」に、「保育の質を高める」を記載します。 <p. 51 >
10	【子ども、子育て】 子育て支援が小学校入学前で終わってしまう印象がある。学校（教育）だけでなく、地域における支援も必要。	御意見を踏まえ、分野別施策1- の「取組方針」において、「妊娠・出産・子育てに対して、切れ目のない支援を行うこと」また、「放課後児童クラブの整備」を記載します。 <p. 51 >

第2回平塚市総合計画審議会における主な意見とその対応

	意見内容	対応
11	【子ども、子育て】 経済（家計）が教育格差にもつながっている。指標などで示せないか。	御意見のとおり、「教育格差の是正」の重要性を認識しており、就学援助などに取り組んでいるところです。現在、これに加え、奨学金返済支援に関する取組を検討しており、指標への位置づけより先に、取組の具体化を進めたいと考えております。
12	【子ども・子育て】 子育て支援が薄い。もっと手厚く対応すべき。特に転入超過が続いているため、ここに着目した取組をすべき。	御意見を踏まえ、分野別施策1- の「取組方針」に、「多様なニーズ」を記載しました。具体的には、駅周辺地区を中心とした転入超過にも着目した保育所整備に取り組みます。 <p. 5 1 >
13	【子ども・子育て】 国の異次元の少子化対策と連動した取組を記載すべき。また、出生率をKPIに掲げるなどし、反転していく様子を示すべき。	庁内の子ども子育て推進会議での議論を経て、若者世代の奨学金返済支援、仕事と家庭の両立支援に取り組む企業へのアドバイザー派遣に関する事業を検討しています。また、出生率については、複数の施策や戦略に関係するため、より高いアウトカムを検討した結果、人口の将来展望で触れることとします。 <p. 8 >
14	【子ども・子育て】 産後パパ育休について、企業支援だけではなく、市民ベースで支援をしてもらいたい。（分野別施策1- ）	母親父親教室において、父親が家事・育児に対して主体的に役割を担う重要性を伝えるとともに、産後パパ育休の制度を周知していきます。男性育休が当たり前になる社会に向けて、育児休業が単なる休みではなことを伝えていきます。 <p. 5 1 >
15	【子ども・子育て】 少子化対策では、ひとり親への支援もすべき。	分野別施策1- の指標において、今後、創設される「こども家庭センター」を設定しており、ここで、ひとり親への支援を含めると捉えています。また、分野別施策5- の指標において、「正規雇用促進補助件数【累計】」を設定します。 <p. 5 1 > <p. 9 9 >
16	【教育】 重点戦略1-(3)で、勉学に意欲的な～とあるが、これは学校を指すのではなく、生徒を指すものだろうから、言い換えが必要。	御意見を踏まえ「進学を希望する生徒への経済的支援」と記載します。 <p. 3 5 >
17	【健康、福祉】 人口減少社会では、少子化対策に目がいきがちだが、高齢者施策の充実も欠かしてはならない。	御意見と同じように高齢者施策は重要であることから、重点戦略3の数値目標に「健康寿命（平均自立期間）」を追加します。また、現在、重点戦略3-(2)の主な取組に「スマート介護の推進」、「地域包括支援センターの機能強化」として高齢者施策の充実を図るとともに、重点戦略4-(3)の主な取組に「重層的支援体制の整備」として、複雑化・複合化した暮らしの課題に対応する仕組みづくりを構築します、と記載しています。 <p. 4 2 > <p. 4 7 >
18	【健康、福祉】 感染症への対応がない。	御意見を踏まえ、分野別施策2- の「現状」に感染症の感染予防、まん延防止、「課題」で新たな感染症に触れ、「取組方針」で予防接種等の対応を記載します。 <p. 5 8 >
19	【健康、福祉】 分野別施策2- の「デジタル化・脱炭素化の取組」は、障がい者の情報を取得するようにも読めるため、文言の修正が必要。	御意見を踏まえ、「デジタル技術の活用による障がい者が行う情報取得・意思疎通の支援」と修正します。 <p. 6 5 >

第2回平塚市総合計画審議会における主な意見とその対応

	意見内容	対応
20	【健康、福祉】 スマート介護が分かりにくい。カタカナには注釈が欲しい。	御意見を踏まえ、「介護ロボットや介護記録で使うタブレット端末などの情報通信技術を活用し、介護現場の生産性向上に資する介護のこと。」と用語解説で説明を加えます。 <p. 136 >
21	【健康、福祉】 盲学校、ろう学校が揃っており、障がい許容するまちになっている。	分野別施策1 - の「現状」に「県立特別支援学校の助言を児童・生徒への適切な支援につなげ、暮らし慣れた地域の学校で学んでいます。」と記載します。 <p. 54 >
22	【健康、福祉】 少子高齢化を踏まえたとき、大事になるのは健康寿命の延伸である。	市の健康寿命を捉えるに当たり、重点戦略3の数値目標に「健康寿命（平均自立期間）」を追加します。 <p. 40 >
23	【共生】 外国籍の市民が多くなっており、この傾向は続くものと思われる。日本国籍の市民に多文化理解・共生の働きかけが必要。外国人も（真に）市民と見た取組をすべき。	御意見を踏まえ、分野別施策3 - の取組方針の「多様性の尊重や異文化の理解促進に取り組みます。」を「多様な文化や習慣に触れる機会を充実させ、共生の意識を高めるとともに、異文化理解を促進します。」に修正します。 <p. 69 >
24	【共生】 地区公民館を社会教育施設以外の用途に開放すべき。まちづくりの拠点となり、平塚市の特徴でもある。	御意見のとおり「地区公民館が市内全地区にあること」は、本市の大きな特徴であることから、分野別施策3 - 「生涯教育や文化芸術活動を推進する」の現状に追記しました。また、重点戦略4 - (3)「暮らしを支えるネットワークを充実する」に事業を位置付けることを検討しており、地区公民館が人や地域・学校をつなげる拠点となるよう、関連団体との連携を強化し、多様な地域活動を支援します。 <p. 72 >
25	【共生】 分野別施策3 - で、ジェンダーの表現が強すぎる。もっと人権は幅広いものであるはず。	御意見を踏まえ、分野別施策3 - の現状、課題、取組方針において、ジェンダーという表現を用いないよう修正します。 <p. 66 ~ 67 >
26	【住民自治、地域福祉】 コミュニティの施策は、もっと書き込みができるはず。例えば、現状に、人間関係の希薄化など基礎自治体として、書けることがある。	御意見を踏まえ、分野別施策3 - の現状に、「地域において人間関係の希薄化が進んでいます。」及び「市内の全地区で、ちいき情報局が開設されています。」と記載します。 <p. 70 >
27	【スポーツ】 分野別施策3 - にeスポーツが入っているのか分からない。このほか、取り組みやすい分野とそうでない分野あるだろうから、無理に全てに対してデジタル（や脱炭素）を位置づけなくてもよい。逆に他市事例などから、市民が良かったと思えるような取組は加えていくべき。	eスポーツについて、分野別施策3 - への位置付けは変更せずに、体力や年齢に関わらず誰でもスポーツが楽しめる機会を充実することを目指し、取組方針を修正しました。 また、デジタル化、脱炭素化の取組を総括したページを第4章（第2章「重点施策」第3章「分野別施策」）として設けました。ここで、デジタル化、脱炭素化に対する考え方も記載しました。なお、位置付ける取組も精査しました。 <p. 75 > <p. 105 ~ 109 >
28	【都市基盤、交通】 神奈川大学の跡地利用に関する書き込みもしておくべき。	序論第2章にある土地利用の考え方「イ 安全・快適な居住環境を形成する土地利用の誘導」において、「大規模施設の跡地においては、周辺環境との調和に努めながら、土地利用の促進を図ります。」としており、ここで、神奈川大学の跡地利用を含めると捉えています。また、分野別施策4 - の取組方針において「土地利用を図ります」という表現にしました。 <p. 10 > <p. 83 >

第2回平塚市総合計画審議会における主な意見とその対応

	意見内容	対応
29	【安心・安全】 防災・減災の施策において、危機管理のような取組（国民保護計画）が考えられないか。地方公共団体では難しいかもしれないが。	御意見を踏まえ、序論の「3本市の状況（4）安心・安全」に、現状認識として「国際情勢の不安定化を背景とした有事の発生が危惧されている」旨を追記します。 <p. 14 >
30	【産業、工業】 官民連携を進めるべき。地域の人や企業と一緒に取り組み、行政だけでは進まない。	御意見を受けて、基本計画が目指す姿を明確にする（市民が幸せに暮らすまち）とともに、市民ワークショップから得られたまちの姿を記載し、協力・チャレンジして取り組む旨を記載しました。さらに、まちづくりの基本姿勢の中でも直接「官民連携」を書き込みます。 <p. 18 >
31	【産業、工業】 市がトップセールスとして時代の先端をいく企業や事業者を誘致していく部局を市内部に創設してもらうことができたなら良い。なお、企業誘致に当たり、特定の産業分野に特化したクラスターの形成や競争力の向上が期待出来る。	御意見を踏まえ、土地利用の考え方に「活力ある経済活動を促すため、周辺環境と調和を図りながら、新たな企業立地の推進に努めます。」を追加します。 <p. 10 >
32	【産業、工業】 企業誘致をしてきた先人たちに厚木市長も寒川町長も感謝している。企業誘致（活性化）をもっと強調すべき。	御意見を踏まえ、土地利用の考え方に「活力ある経済活動を促すため、周辺環境と調和を図りながら、新たな企業立地の推進に努めます。」を追加します。 <p. 10 >
33	【雇用】 p. 13で書かれた課題認識（女性の就労（出産による離職防止））が分野別施策5- に反映されていない。	現状に「結婚や出産を機に離職する女性が多くなります。」と記載するとともに、取組方針に「仕事と家庭を両立しやすい労働環境の整備を促進します。」と記載いたします。 <p. 99 >
34	【重点戦略】 「効果」とあるが、内容からすると、目指す姿やビジョンが適当ではないか。	御意見を受け、改めて内容を整理しました。目指す姿やビジョンに相当する内容は、戦略名（重点戦略1, 2, 3, 4）そのものが示しているため、「効果」の項目は削除します。 <補足説明> 重点戦略1に効果を発揮させる（実現させる）ために、枝番の戦略（重点戦略1-（1）、1-（2）、1-（3））を設定しています。
35	【指標】 もう少し踏み込んだ指標を検討してもらいたい（数ではなく効果のような）。	御意見を受け、重点戦略1-（1）に「正規雇用促進補助件数【累計】」、重点戦略3に「健康寿命（平均自立期間）」を追加します。 <p. 33 > <p. 40 >
36	【指標】 平塚らしい指標がないか。また、重点戦略4、数値目標と取組とのつながりが見えない。どのような議論のもとに指標が設定されたか分かるようにしておくべき。	御意見を踏まえて、重点戦略3-（2）のKPIに「高齢者見守り協定の締結団体数」を追加します。また、重点戦略4の数値目標を「路線バスの乗り継ぎ環境の整備箇所数【累計】」に修正します。 <p. 42 > <p. 44 >
37	【DX、GX】 DX、GXの言葉は、だいぶ浸透しているが、デジタル弱者に対して救済（配慮）した表現にすることが必要。	デジタル化、脱炭素化の取組を総括したページを第4章（第2章「重点施策」第3章「分野別施策」）として設けました。ここで、御意見の内容も含めてデジタル化、脱炭素化に対する考え方も記載します。 <p. 105 ~ 109 >

第2回平塚市総合計画審議会における主な意見とその対応

	意見内容	対応
38	【DX、GX】 重点戦略と分野別施策の「デジタル化・脱炭素化の取組」に同じ内容が記載されている。違いを明確にすることができないか。	デジタル化、脱炭素化の取組を総括したページを第4章(第2章「重点施策」第3章「分野別施策」)として設けました。なお、出来る限り違いが明確になるよう配慮します。 <p.105~109>
39	【DX、GX】 ICTにできること、できないことがあるため、これを明確にしてはどうか。	デジタル化、脱炭素化の取組を総括したページを第4章(第2章「重点施策」第3章「分野別施策」)として設けました。ここで、デジタル化、脱炭素化に対する考え方も記載しました。なお、位置付ける取組も精査しました。 <p.105~109>
40	【DX、GX】 環境行政にもう一步踏み込んだ書き込みが欲しい。また魅力の発信もしてもらいたい。	脱炭素化の取組を総括したページを設けました。ここで、市の脱炭素化に対する考え方を記載しました。また、魅力の発信はシティプロモーションに取り組むことで進めていきます。 <p.108~109><p.17>
41	【DX、GX】 ICTに苦手意識があるのは高齢者に限らない。また、ICTを導入した後の活用、教育、サポートなどの支援も必要。	デジタル化の取組を総括したページを設けました。ここで、市のデジタル化に対する考え方として「デジタル技術の利活用を希望する人に対して、年齢に限らずデジタル化の恩恵を享受できるように支援していきます。」を記載します。 また、産業振興部で実施している導入補助金は、アドバイザー(ITコーディネータ)派遣も実施しており、導入後も見据えた支援を行っています。 なお、行政サービスは「すぐに使えて」「簡単」で「便利」な利用者中心のサービスとなるよう取り組んでいきます。 <p.106~107>
42	【DX、GX】 デジタルサイネージとあるが、誰のために、何のために設置するのか分からない。(分野別施策4-)	必要性や効果を踏まえて検討した結果、削除します。 <p.83>
43	【DX、GX】 デジタル化は、覚えたいと思う人には使うことができるような支援をすること。お金がかかることも合わせて説明すること。	デジタル化、脱炭素化の取組を総括したページを第4章(第2章「重点施策」第3章「分野別施策」)として設けました。ここで、御意見の内容も含めてデジタル化、脱炭素化に対する考え方も記載します。 <p.105~109>
44	【DX、GX】 デジタル化は、ぬくもりを大事に進めなくてはならない。	デジタル化、脱炭素化の取組を総括したページを第4章(第2章「重点施策」第3章「分野別施策」)として設けました。ここで、御意見の内容も含めてデジタル化、脱炭素化に対する考え方も記載します。 <p.105~109>
45	【DX、GX】 デジタル化や脱炭素化が個別の記載となっており、個々をひっくるめた示し方ができると良い。	デジタル化、脱炭素化の取組を総括したページを第4章(第2章「重点施策」第3章「分野別施策」)として設けました。ここで、デジタル化、脱炭素化に対する考え方も記載します。 <p.105~109>

第2回平塚市総合計画審議会における主な意見とその対応

	意見内容	対応
46	<p>【DX、GX】 個々の取組ではなく、面的な取組を考えると、マイクログリッドなどに取り組めると良いのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、第4章として新設した、脱炭素化の主な取組のリード文に「将来の世代も安心して暮らせる、持続可能な社会づくりを進め」ることを記載します。また、分野の単位で、脱炭素化の取組の方向性（効果）を記載します。</p> <p>なお、電力事業者から、本市の立地条件ではマイクログリッドの構築は難しいといった見解が示されており、周辺電力系統から切り離す仕組みづくりに関する技術面での解決策や都市部における構築（成功）事例について、調査研究を進めていく段階と認識しています。</p> <p><p.108～109></p>

第2回平塚市総合計画審議会における主な意見とその対応

	意見内容	対応
意見をいただいたが、1次素案の変更に至らなかった事項		
1	<p>【子ども・子育て】 病児保育が欠かせない。民間では手が挙がらないため「公的」な病児保育の設置を考えるべき。</p>	<p>共働き世帯が増加傾向にある中で、病児保育の重要性は認識しています。新たな病児保育の設置に当たっては、利用状況や市域のバランスを考慮し、かつ今ある施設と人材を有効活用する必要があります。引き続き、運営に対する補助や委託という形で支援していきます。</p>
2	<p>【子ども・子育て】 重点戦略1-(2)の基本的な方向性に「男性の家事・育児」とあるが、男性と書く必要があるか。</p>	<p>男性が家事・育児に参加していると認識していても、女性側から見ると不十分と認識しているギャップがあることから、敢えて「男性」と記載しています。 (参考)育児休業の取得に関しても男性の取得率が低いことが問題点だと考えています。 <p. 34 ></p>
3	<p>【スポーツ】 スポーツの再開や始めるきっかけづくりを全世代対象に支援して欲しい。(分野別施策3-)</p>	<p>市内の全小中学校の体育館やグラウンドを働く世代でも利用できる夜間に開放しています。また、初心者でもスポーツを始めるきっかけを作る学校施設の個人開放では、東海大学スポーツクラブの管理者が助言をしています。これらの取組をSNSで周知して、スポーツを気軽に楽しむ機会を提供しています。 <p. 75 ></p>
4	<p>【スポーツ】 ベルマーレが提案しているスタジアムについて、課題の書き込みをすべき。</p>	<p>基本計画では、個別具体的内容ではなく、方向性を示すこととなります。このため、現在のところ、分野別施策3 「誰もが楽しめるスポーツを充実する」で「湘南ベルマーレなどが行う取組を支援する(とともに~)」と記載しており、御意見の内容が含まれていると認識しています。 <p. 75 ></p>
5	<p>【都市基盤、交通】 人口減少社会では「交通」が重要になる。秦野市で実証実験されているロープウェイと同じような取組ができないか。(重点戦略4-(3))</p>	<p>重点戦略4-(3)の主な取組で「次世代モビリティの推進」としており、ここで、御意見の意図が含まれています。なお、実証実験については、具体的な案件があれば、実現に向けて相談に応じています。現在のところ、平塚の海でブルーカーボン等の実証実験が進んでいます。 <p. 85 ></p>
6	<p>【都市基盤、交通】 まちなかにある公園の充実を図ることが必要。場所がなければ、ナイターをするなど、今あるもので満足せずに検討してほしい。</p>	<p>分野別施策4- の取組方針で「にぎわいがあり、交流の場となる公園利用に取り組みます。」としており、ここで御意見の意図が含まれています。具体的な御提案については事業所管課で参考にさせていただきます。 <p. 89 ></p>
7	<p>【都市基盤、交通】 平塚の特徴は海である。県と連携した海上タクシーの取組など、海から平塚を眺めるのも良い。</p>	<p>分野別施策5- の取組方針で「地域資源を磨き上げるとともに、これを活かした観光プログラムの開発」としており、ここで御意見の意図が含まれています。具体的な御提案については事業所管課で参考にさせていただきます。 <p. 95 ></p>
8	<p>【農業、漁業】 多くの市民に魚を届けていきたい。常設の販売所を設置して欲しい。</p>	<p>分野別施策5- の取組方針で「農水産物の販路拡大や付加価値の向上等を促進」と記載しており、御意見の意図と方向性を同じくしています。 なお、常設の販売所の設置については、今後も漁業関係者と方向性を検討していきます。 <p. 93 ></p>

第2回平塚市総合計画審議会における主な意見とその対応

	意見内容	対応
9	<p>【農業、漁業】 魚市場の建て替え予定に合わせた周辺開発など、地域の活性化につながるようにして欲しい。</p>	<p>魚市場（卸売市場）の再整備では、現在の卸売市場の敷地のみならず須賀港周辺を一体的に開発する予定になります。 再整備及び整備後の運営は民間企業が担いますが、整備に合わせて地域の活性化に繋がるような取り組みも行うように本市としても働きかけてまいります。</p>
10	<p>【農業、漁業】 一次産業の担い手を増やす取組をもっと書き込むべき。（分野別施策5 - ）</p>	<p>分野別施策5 「農業・漁業を振興する」で「担い手の人材を確保・育成します。」と記載しており、御意見の意図が含まれています。なお、具体的な取組は、ワンストップ窓口の運営や家賃補助などによって新規就農者（定年帰農者以外）が過去5年で10人となっており、また、新たなライスセンターの立ち上げに向けて、継続的に支援をしていきます。 <p. 93 ></p>
11	<p>【広域連携】 厚木市が広域連携を打ち出している。平塚市も東側、西側などとの連携を考えた方が良いのではないかと。</p>	<p>本市では、3市3町（平塚、秦野、伊勢原、大磯、二宮、中井）や茅ヶ崎市との連携に関する各協議会に参加しているほか、ごみ処理や消防指令などの各業務、道路や河川に係る要望活動などにおいて、関係する市町と連携して取り組んでいます。 こうした行政間の連携については、まちづくりの基本姿勢で触れており、現計画よりも積極的な表現にしています。 <p. 18 ></p>
12	<p>【指標】 産後パパ育休について、市の率先行動として、市の取得率を記載してはどうか。（分野別施策1 - ）</p>	<p>重点施策1 - （2）の主な取組「男性の育児休業取得のための総合支援策の推進」では、母親父親教室において、父親が家事・育児に対して主体的に役割を担う重要性を伝えるとともに、産後パパ育休の制度を周知してまいります。また、仕事と家庭を両立できる労働環境の整備に向けて、中小企業へアドバイザーを派遣することを検討しています。市の率先行動ではなく市民や民間企業に向けた取組を検討しており、取組の具体化を進めたいと考えています。 <p. 34 ></p>

第2回平塚市総合計画審議会における主な意見とその対応

	意見内容	対応
その他、質問に対する回答等		
1	【全体】 総合計画を手にとって、見てもらえるような工夫をしてはどうか。例えば、表紙に湘南平からの景色を印刷するとか。	御意見を念頭に冊子化していきます。
2	【全体】 総合計画を創り上げたときには、しっかり市民に伝えること。	御意見を念頭に完成後に取り組んでいきます。
3	【全体】 計画は2つの役割を持つ。一つは事業進行の管理、一つは行政内部と外部のビジョンの共有があり、その両面を入れていく。	御意見を踏まえ、毎年の行政評価に取り組んでいきます。また、総合計画が目指す姿をしっかりと示し、分野別施策に設けた目指す姿を示す項目についても、市民や企業と共有できるような記載を心掛けます。
4	【住民自治、地域福祉】 前へ進める総合計画として欲しい。自治会としても盛り上げていきたい。	御意見を踏まえ、自治会と連携して施策を推進していきます。
5	【住民自治、地域福祉】 子ども会や育成会は減少している。老人会はスムーズに進んでいない。自治会は息つく間もない。	御意見を踏まえ、施策を検討する際の参考とさせていただきます。
6	【産業、工業】 企業や事業者を誘致できるよう、育児・教育・福祉・湘南らしい青春スポーツ文化・インフラ等の育成や整備が必要。	インフラ整備をはじめ、総合計画全般の取組を推進し、本市を魅力を高めます。
7	【農業、漁業】 低未利用魚の地産地消を進めたい。	分野別施策5 - の取組方針で「農水産物の販路拡大や(中略)、地産地消に取り組みます」と記載しており、成果指標を「低利用魚活用数量」としていることから、御意見の意図と方向性を同じくしています。 <p. 93 >
8	【指標】 世の中の動きが早いため、KPIを設定しても4年後には見直しが必要になるかもしれない。あまり固定することのないように。	御意見いただいた内容を中間年の見直しに引き継いでいきます。
9	【指標】 4年経過すると、なぜこのようなKPIを設定したか分からなくなる。評価の際には定性的な評価も加えること。	御意見いただいた内容を中間年の見直しに引き継ぎます。